

# 教育目標・経営方針等

## 1 令和3年度 学校教育目標、経営方針等

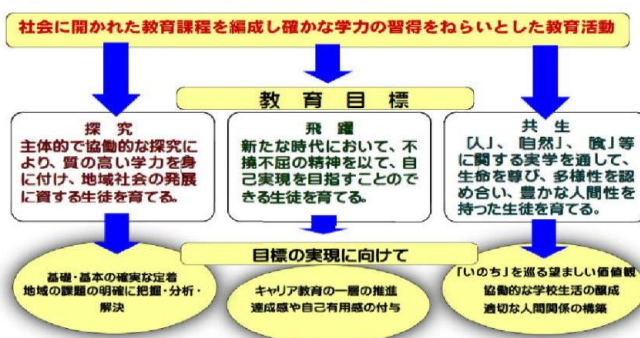
### 本校(総合学科)理念

ふるさとの風土や「いのち」をめぐる体験に学び、たくましく生きぬく力を身に付け、人や地域をつなぎ共に支え合い、社会の発展に資する人間を育てるため、幅広い選択科目等を設定し多様な自己実現を支える社会に開かれた教育課程を編成し、異文化理解や地域文化、農業や環境等に関する体験的な学びを重視するとともに、知識の理解の質を高め、確かな学力の習得をねらいとした教育活動を推進する。

### 本校の教育目標（目指す生徒像）

- 1 【探 究】 主体的で協働的な探究により、質の高い学力を身に付け、地域社会の発展に資する生徒。
- 2 【飛 躍】 新たな時代において、不撓不屈の精神を以て自己実現を目指すことのできる生徒。
- 3 【共 生】 「人」、「自然」、「食」等に関する実学を通して、生命を尊び、多様性を認め合い、豊かな人間性を持った生徒。

#### 【北海道標茶高等学校の教育の深化】



### 本校の育成を目指す資質・能力

- 1 【探 究】
  - (1) 学びに向かう力  
学びの価値を認識し、計画的で質の高い学びをデザインするとともに、学びの発展を持続することができる資質と能力。
  - (2) 課題を解決する力  
身近な課題を設定し、情報収集と分析、他者の価値観を共有し、自らも明確に発信することにより、自主的、創造的にその課題解決、あるいは軽減に向けて、取り進めることができる資質と能力。
- 2 【飛 躍】
  - (1) 新たな時代を切り拓く力  
他者と協働しながら、主体的に物事に取り組むとともに、肯定思考と忍耐を持ち、自己実現を目指すことができる資質と能力。
  - (2) 自己の進路を設計する力  
心身ともに持続できる職業観を育み、自己理解を深め、自らの進路を考えるとともに、主体的・継続的にキャリアを形成することができる資質と能力。
- 3 【共 生】
  - (1) ふるさとを愛する力  
生活の基盤とする釧路圏域との触れ合いや他の地域文化を知ることで、地域を一層理解し、ふるさとへの愛着と関わりを強く持つとともに、ふるさとの良さ広く情報発信することができる資質と能力。
  - (2) 自他を愛する力  
生命を巡る望ましい道徳観と価値観を身につけるとともに、自他を尊びともに支え合うことができる人との関係を構築した生き方ができる資質と能力。

## 重点目標

---

- 1 文化理解、地域環境、農業・食品に係る系列事業、並びに社会と連携したキャリア教育の内容充実を図り、いのちの学びから、主体的に自己の在り方、生き方を考える能力を育む。
- 2 全ての教育活動において主体的・対話的で深い学びの視点からの学習を充実させると共に、ICTの活用による協働的で個別最適化された学習指導を推進する。
- 3 習得した様々な知識を活用し、課題を解決する成功体験をとおりして創造性を身に着けると共に、様々な手段を用いて周囲に伝える表現方法や技能を身に付けさせる。
- 4 地域創生に資する高等学校として、地域社会と連携した教育活動の充実を図り、特色ある学校活動を広く、分かりやすく発信する。
- 5 コロナウィルス感染症拡大防止をはじめ、適切な危機管理に努める。
- 6 教職員が生徒と関わる時間を確保し、心身の健康を保つことができるよう働き方改革を推進する。

## 学校経営方針

---

- 1 本校の総合学科の理念を踏まえ、主体的で対話的な深い学びと多様な進路実現を保証する教育環境の整備に努める。
- 2 学校及び地域資源を活かし、社会との連携・協働による文化、自然環境、食を特色とした魅力ある社会に開かれた教育課程の運用に努める。
- 3 学校を軸とした地域（釧路圏域）づくりを実現する高校として地域社会に評価され、北海道の高校として存在感を示す教育実践に努める。
- 4 共生社会の形成に向けて支援を要する生徒のニーズに応じた指導の充実を図るとともに、家庭、地域、関係機関等による連携体制の整備を進める。
- 5 生徒や保護者、地域との共助による信頼関係を築き、人間関係や組織運営を円滑に進めるとともに、危機管理事案に適切に対応することで、信頼される学校づくりを推進する。

## 教育課程編成の方針

---

- 1 学校全体で育成を目指す資質能力を共有し、教科横断的な「総合的な探究の時間」を教育課程の中核に位置づけ、生徒、保護者、地域のニーズに応じた多様な学習を可能とする教育課程を編成する。
- 2 系列の探究活動、各教科・科目指導において主体的・対話的で深い学びを実践するとともに、より専門的、協働的な学習となるよう、地域人材や関係機関との積極的な連携による開かれた教育課程を編成する。
- 3 基本的な知識・技能の習得の上に、学びに向かう主体性・人間性の涵養を図るべく、探究、体験、協働、ICT活用等の教育方法の工夫により、授業等諸活動の質を高める。

## 本校の教育目標を実現のための方策

---

- 1 **【探 究】** 主体的で協働的な探究により、質の高い学力を身に付け、地域社会の発展に資する生徒を育てる。
  - (1) スタディサプリなど積極的自学習慣の定着とAL（アクティブ・ラーニング）等により主体的・対話的で深い学びの授業への導入を進め、基礎・基本が確実に定着するよう授業改善に取り組み。
  - (2) 地域の課題を明確に把握・分析し、その解決、あるいは軽減に向けて、総合的な探究やプロジェクト学習を展開し、他者の価値観を共有し、自主性と創造性を涵養する。
- 2 **【飛 躍】** 新たな時代において、不撓不屈の精神を以て自己実現を目指すことのできる生徒を育てる。
  - (1) キャリア教育の一層の推進を目指し、教科・科目と産業社会と人間、総合的な探究の時間との横断的なかわり方を的確に理解させ、より現実的に自己実現を図ることができるよう、全体像を明確化する。
  - (2) 各系列事業や特別活動にも積極的に参加し、生徒が達成感や自己有用感を持つことができるよう、活動の意義や価値について考えさせる。
- 3 **【共 生】** 「人」、「自然」、「食」等に関する実学を通して、生命を尊び、多様性を認め合い、豊かな人間性を持った生徒を育てる。
  - (1) 総合的な探究の時間や系列事業により、人との関わり、地域や学校の発信、環境の保全、農食の探究を通じ、全ての生徒が生涯にわたって郷土を思う心と「いのち」を巡る望ましい価値観を持てるよう、地域での様々な体験的な実学的活動を奨励する。
  - (2) 学校行事の内容的な充実を図り、協働的な学校生活の醸成と適切な人間関係の構築を図るとともに、生徒理解ツールの活用や教育相談、ピア・サポートなどにより教員の生徒理解を深め、生徒の自他の理解・尊重を促す。